

一般

段級

【奥の細道】  
 広いな須野でほととぎすが一声啼いた。その声を聞くように姿を見るように、馬の頭をグーツとそちらへ向けてくれ。そして馬子よ、ともに聞こうじゃないか  
 殺生石は、温泉の湧き出る山陰にあった。石の姿になっても九尾の狐であったころの毒気がまだ消えぬと見えて、蜂や蝶といった虫類が砂の色が見えなくなるほど重なりあつて死んでいた

いまだほろびず。

蜂蝶のたぐひ。

殺生石は温泉の出る山陰にあり。石の毒気

野を横に馬挽むけよほととぎす

